

「市民協働によるまちづくり」は、話し合いから!



櫻井常矢氏

「みんな考えてみよう!協働してすすめるまちづくり」と題して、市民協働推進フォーラムが7月27日(月)に中央公民館で行われました。

会場には、市民、自治会、市民団体、NPO、事業者の約120人が参加し、今年度市が策定した「宜野湾市市民協働推進基本指針」のスライドショーや、基調講演、パネルディスカッションを通し「市民協働によるまちづくり」について考えを深めました。

■基調講演
高崎経済大学教授櫻井常矢氏は「高齢化、子育て、災害等、多様化・深刻化する地域の課題を解決するためには「話し合い」から始め、市民も行政もお互いの役割を見直していくことが大事」と講話されました。

■パネルディスカッション
指針の策定に取り組んだ宜野湾市市民協働推進協議会委員長の岩田直子氏は「今後、地域づくりに関心のある方がつながる場づくりや人材育成が必要」と提言。

長田区自治会の富濱宗俊会長は、区民同士の話し合いを経て、現在取り組んでいる活動について紹介し「自治会も一つの組織として長田区の地域づくりに関わる組織団体と話し合い、つながることが課題」と話しました。

宜野湾市市民協働推進協議会委員でNPO法人まちなか研究所わくわく



(左から) 岩田直子氏、富濱宗俊氏、宮道喜一氏

事務局長の宮道喜一氏は「今ある組織などをつなぐことで課題が解決する事がある。今後「つなぎ役」が必要であり、これから市が策定する市民協働推進実施計画について議論していく中でその役割、方法等について、話し合っていきたい」と話しました。

最後に櫻井氏は「協働によるまちづくりや自治会・団体運営等新しい取り組みをサポートする、人材を発掘したり、他の組織等とつなげたりする仕組み(中間支援)が必要」と話し、フォーラムをしめくくりました。

宜野湾市では、平成27年6月に、市民協働によるまちづくりの考え方や方法をまとめた「宜野湾市市民協働推進基本指針」を策定しました。

お問合せいただければ、概要版パンフレットを提供いたします。また、ホームページにもデータを掲載しておりますので、どうぞご活用ください。

参加者アンケートより

★開かれた地域を目指していくヒントがもたらされた。今あるものをつないでいくこと。まち歩きをして、自分の地域の課題を見つけていく!現在自分達が行っている事をもう少し掘り下げて楽しく取り組んでいきたい。(50代・女性)

★「それぞれの立場で見えるものが違う。それを共有する」という言葉がとても印象的だった。共有した上で、自分の立場では何ができるかを真剣に考え、実践することができたらすごくいいと思った。(20代・女性)

問合せ：市民協働推進課 ☎893-4411 内線403・422